



第一化成控股（開曼）股份有限公司 IKKA HOLDINGS(CAYMAN) LIMITED

持続可能性委員会の構成、責任および2014年の活動

一、持続可能な開発委員会の構成

2024年5月8日、当社取締役会は、当社の持続可能なガバナンス運営の最高指導組織である持続可能な開発委員会の設立を決議しました。委員はすべて取締役であり、取締役2名と独立取締役3名で構成されています。まず、持株会社の台湾連絡事務所を開発センターとして活用し、グループ全体の持続可能な開発目標の設定と実施を徐々に効果的に推進し、ESGの概念をビジネス戦略に統合します。ESG実施計画および推進実績について、定期的に（少なくとも年1回）取締役会に報告書を提出します。

委員会は、コーポレートガバナンスグループ、サステナブル環境グループ、社会福祉グループ、サステナブル情報開示グループの4つの機能グループで構成されています。関連部門の機能ユニットの責任者は、さまざまな側面の重要な問題に対応するためのさまざまなプロジェクトまたは対策を推進し、リソースを効果的に統合して日常業務に実装する責任を負っています。

第一回サステナビリティ委員会メンバー

委任日付	サステナビリティ委員会メンバー		専門的な能力
2024.05.08	取締役	胡湘麒	経営管理、産業知識、国際市場展望、意思決定能力、コーポレートガバナンス
2024.05.08	取締役	董俊仁	ESG 専門知識、経営管理、産業知識、国際市場展望、意思決定能力、コーポレートガバナンス
2024.05.08	独立取締役	林天送	経営管理、産業知識、国際市場展望、意思決定能力、コーポレートガバナンス
2024.05.08	独立取締役	陳威宇	会計専門知識、経営管理、国際市場展望、意思決定能力、コーポレートガバナンス
2024.05.08	独立取締役	陳哲生	経営管理、産業知識、国際市場展望、意思決定能力、コーポレートガバナンス

(注)：委員会メンバーの董俊仁氏は、台湾持続可能エネルギー研究財団から企業持続可能性管理の認定を受けています。

1、サステナビリティ委員会の責任

当社は、2024年5月8日に「サステナビリティ委員会組織憲章」を制定しました。憲章第6条では、当社のサステナビリティ委員会の責務を以下のように定めています。

(1) 会社の持続可能な開発方針、年間計画、戦略などを策定し、推進し、強化する。

- (二) 持続可能な開発の実施状況と有効性を検討、追跡、修正します。
- (三) 持続可能性に関する情報開示を監督し、持続可能性レポートをレビューします。
- (四) 当社の持続可能な開発行動規範または取締役会によって承認されたその他の持続可能な開発関連業務の実施を監督します。

三、2024 年の持続可能な開発委員会の実施

2024 年 12 月 25 日、サステナビリティ委員会の議長は取締役会に ESG の実施状況と年間業務計画を報告しました。取締役会はその後、計画を評価し、進捗状況を検討し、調整勧告を行いました。

四、持続可能な開発委員会の運営

持続可能な開発委員会は直近の年（2023 年）に 2 回の会議を開催し、出席者は次のとおりです。

役職	名前	実際の出席者数	委任出席者数	実際の出席率(%)	述べる
取締役	胡湘麒	2	0	100	無
取締役	董俊仁	2	0	100	無
独立取締役	陳威宇	2	0	100	無
独立取締役	林天送	2	0	100	無
独立取締役	陳哲生	2	0	100	無